

# 平成22年度 決算の審査から

今定例会初日に平成22年度決算についての議案が上程されました。これを受け、議会では一般会計、特別会計の両決算について2つの特別委員会を設置し、平成22年度予算が適正に執行されたか、財政運営は妥当であったかなどを審査を行いました。

一般会計の歳入決算額は、577億8千80万9千568円で、前年度比0.3%の減、対する歳出決算額は559億2千721万9千770円で、前年度比1.3%の増でした。歳入は、企業収益の低迷による給与所得の減少などから、個人市民税を始めとした市民税収が減少しました。また、国からの地方交付税は、財源不足の状況を受け、7年ぶりに交付(約14億円)されました。一方、歳出は、生活保護費などの扶助費の増及び特別会計への繰入金増等、基金の取り崩しが進むなど財政状況は厳しくなり、7億216万3千130円の増となりました。

また、特別会計は、歳入総額が429億6千935万円で、前年度比2.6%の増であり、歳出総額は427億5千976万円で、前年度比1.9%の増となりました。

一般会計及び特別会計決算は、委員会審査の後、本会議においても慎重に審査を行い、採決の結果、すべて認定しました。各会計の審査・審議状況は後段のとおりです。

## 一般会計決算

平成22年度一般会計決算特別委員会(委員長・峯岸弘行委員、副委員長・中谷好幸委員)は、9月15日、16日、20日の3日間にわたって開催し、正副委員長の下、平成22年度一般会計決算について慎重な審査を行いました。

委員会では、担当部署からの内容説明に対し、予算執行に見合うだけの行政効果があったのか、会計処理上の過誤や不適切な支出がなかったか、財産の管理は適正に行われたのかなどについて、延べ50人の委員が234件の

質疑や行政への提言・指摘を行いました。

主な質疑は、次のとおりです。

- 市営住宅使用料について、不能欠損の扱いはどうなっているのか
- 徴税費におけるコンビニ二収納代行業務委託は、収納率向上につながっているのか
- 普通救命救急講習会の内容について
- 在宅支援ヘルパー派遣事業委託料の予算執行率が半分以上になった理由を問う
- 高齢者理容・美容助成費が80%以上節減されたが、どのような人が助成対象外となったのか
- 太陽光発電システムの補助を受けた人の設置後の状況を把握しているのか
- 家具転倒防止器具の取り付け後のメンテナンスについて
- 原発事故を受け、学校の給食の放射能検査について対応を問う
- スクールソーシャルワーカーの必要性について
- 小・中学校施設整備に關し、トイレ改修実施計画について
- 委員会最終日の20日、総括質疑の後、採決を行った結果、平成22年度一般会計決算は賛成多数で「認定すべきもの」と決

## 平成22年度 主要な施策

①ともに創る参画と協働のまち	15億7,607万円	・第5次日野市基本構想・基本計画「2020プラン」の策定 ・第4次日野市行政改革大綱・実施計画の策定 ・市立病院改革プランの推進など
②ずっとこのまちで生きる～健康・福祉施策の充実	12億4,888万円	・特別養護老人ホーム待機者の解消対策 ・(仮称)発達支援センター開設準備事業 ・(仮称)市民の森ふれあいホール建設など
③安全安心な子どもの学び・子どもと子育て世代が輝くまちづくり	74億4,822万円	・学校(校舎・体育館)、保育園の耐震補強工事、児童館の大規模改修工事 ・保育園待機児ゼロを目指す具体的な取り組み(芝原保育園・栄光豊田駅前保育園の開設、たまだいら保育園の移設に伴う建設) ・特別支援教育の充実(リソースルームの拡充)など
④快適で安全に暮らせるまちづくり	46億9,831万円	・家庭における防災促進(木造住宅の耐震診断および改修への助成、家具転倒防止器具助成) ・緊急通信システム(地域防災行政無線)のデジタル化 ・豊田駅および京王線3駅バリアフリー化工事 ・市内各所の生活道路改良工事 ・緊急雇用創出事業(雇用創出、就業支援)など
⑤ともに進める環境にやさしいまち	2億1,616万円	・ごみゼロ運動事業(容器包装お返し大作戦など) ・ふだん着でCO <sub>2</sub> をへらそう事業の推進 ・渾合小校庭芝生化など

## 特別会計決算

平成22年度特別会計決算特別委員会(委員長・秋山薫委員、副委員長・古賀壮志委員)は、9月21日に開催し、正副委員長の下、平成22年度の7つの特別会計決算について慎重な審査を行いました。

審査は、国民健康保険、

土地区画整理事業、下水道事業、老人保健、介護保険、後期高齢者医療、市立病院事業の各会計順に行い、各委員から様々な質疑や行政への意見・提言・指摘がありました。主な質疑・意見は、次のとおりです。

○短期保険証の対象者数

今後の行政運営に反映するよう要請を行いました。その後、採決が行われ、平成22年度一般会計決算は賛成多数により認定しました。

とその数字の変化について問う(国民健康保険)

○区画整理事業全般の進捗状況を問う(土地区画整理事業)

○厳しい財政状況の中、事業に優先順位をつけ、メリハリのある市政運営をすすべるべきではないか(土地区画整理事業)

○地域支援事業に關し、特定高齢者のうつ予防などの新規事業の実績を問う(介護保険)

○介護保険のサービスを受けられない理由に経済的負担が有ると考えるが、低所得者への配慮について問う(介護保険)

○経営改善を行いながら、

9月27日の本会議において秋山薫委員長が審査報告を行い、委員会の審査結果同様、土地区画整理事業特別会計は賛成多数で、他の6会計は全会一致で認定し、平成22年度の各特別会計決算は、すべて認定しました。

会計別	平成22年度決算				
	歳入	対前年度比(%)	歳出	対前年度比(%)	
一般会計	577億8,081万円	△0.3	559億2,722万円	1.3	
特別会計	429億6,935万円	2.6	427億5,976万円	1.9	
内訳	国民健康保険特別会計	154億5,261万円	0.7	153億5,556万円	0.7
	土地区画整理事業特別会計	34億6,962万円	18.6	32億3,172万円	16.9
	下水道事業特別会計	48億6,973万円	△8.1	47億7,517万円	△9.7
	老人保健特別会計	810万円	△76.6	810万円	△70.9
	介護保険特別会計	92億3,862万円	1.4	91億5,518万円	1.9
	後期高齢者医療特別会計	28億1,852万円	13.4	27億9,645万円	13.8
	市立病院事業特別会計	71億1,215万円	6.3	74億3,758万円	3.3
合計	1,007億5,016万円	0.9	986億8,698万円	1.5	

## 平成22年度 一般会計決算構成図

